

令和3年度

平川市簡易水道特別会計
決算審査意見書

平川市監査委員

平 監 第 2 3 号
令和4年7月21日

平川市長 長 尾 忠 行 様

平川市監査委員 鳴 海 和 正

平川市監査委員 工 藤 秀 一

令和3年度平川市簡易水道特別会計決算に係る審査意見書の提出について

地方公営企業法（昭和27年法律第292号）第30条第2項の規定に基づき、審査に付された令和3年度平川市簡易水道特別会計決算について、審査した結果、別紙のとおり意見書を提出します。

目 次

第1	審査の対象	1
第2	審査の期間	1
第3	審査の方法	1
第4	審査の結果	1
	簡易水道特別会計	2

令和3年度平川市簡易水道特別会計決算審査意見

第1 審査の対象

令和3年度平川市簡易水道特別会計決算

第2 審査の期間

令和4年7月1日から同月20日まで

第3 審査の方法

各会計の決算の審査に当たっては、歳入歳出決算書、歳入歳出決算事項別明細書、実質収支に関する調書、財産に関する調書及び基金運用状況を示す書類について、関係法令に準拠して作成されているか、予算が適正かつ効率的に執行されているか、財産の管理及び基金の運用は適正であるか等に主眼をおき実施した。

第4 審査の結果

審査に付された決算書等は、関係法令に準拠して作成されており、その計数は関係帳簿及び証拠書類と照合した結果、誤りのないものと認められた。

また、基金の運用状況については、計数に誤りはなく、適正に運用されているものと認めた。

1 簡易水道特別会計

令和3年度の簡易水道特別会計の決算収支状況については、次のとおりである。

(単位：円、%)

区 分		令和3年度	令和2年度	増減額	増減率
歳入総額	①	10,658,530	8,953,970	1,704,560	19.0
歳出総額	②	10,658,530	8,953,970	1,704,560	19.0
形式収支額(①-②)	③	0	0	0	—
翌年度へ繰越すべき財源	④	0	0	0	—
実質収支額(③-④)	⑤	0	0	0	—

歳入、歳出ともに決算額が10,658,530円となり、差引残額は0円となっている。

歳 入

(単位：円、%)

区 分	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	執行率	収入率
令和3年度	11,697,000	10,768,907	10,658,530	0	110,377	91.1	99.0
令和2年度	11,105,000	9,040,883	8,953,970	0	86,913	80.6	99.0
増減額	592,000	1,728,024	1,704,560	0	23,464	—	—
増減率	5.3	19.1	19.0	—	27.0	—	—

歳 出

(単位：円、%)

区 分	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
令和3年度	11,697,000	10,658,530	0	1,038,470	91.1
令和2年度	11,105,000	8,953,970	0	2,151,030	80.6
増減額	592,000	1,704,560	0	△1,112,560	—
増減率	5.3	19.0	—	△51.7	—

葛川地区簡易水道、小国地区簡易水道及び平六・大木平地区小規模水道の財務を整理するものであり、収入済額は10,658,530円で、前年度より1,704,560円(19.0%)の増となっている。

支出済額は10,658,530円で、前年度より1,704,560円(19.0%)の増となり、執行率は91.1%である。

主な内容として、歳入では事業収入(簡易水道使用料)は4,957,443円で前年度より41,279円(0.8%)の増、一般会計繰入金が4,201,087円で前年度より1,663,281円(65.5%)の増となっている。

歳出では、構成比の 92.5%を占める事業費が 9,856,248 円で前年度より 1,555,406 円 (18.7%) の増となっている。

その内訳として、葛川地区管理費が、4,609,221 円で前年度より 2,662,409 円 (136.8%) の増、小国地区管理費が、3,322,107 円で前年度より 632,737 円 (23.5%) の増となったこと、平六・大木平地区管理費が、1,924,920 円で前年度より 1,739,740 円 (47.5%) の減となったことによる。